

いわき市の公共施設等の「どうする?」「どうなる?」をお伝えする



ぷらラボ ニュース 創刊号

発行 2022年5月11日 (水)
いわき市施設マネジメント課
☎22-7408 内線2422~2424

いわき市には、1,300以上もの公共施設等(建築物)があります。建物は、建てる時だけでなく、ただそこにあるだけで相当の維持管理費がかかります。また、築20年頃から損傷や劣化がみられるようになり、その程度が軽微なうちに、そして計画的に修繕・改修を行わなければ、老朽化は加速していきます。

しかし、修繕・改修等に振り向けられる予算には当然限りがあり、今ある施設すべてを維持し続けることは不可能です。公共施設等の質・量の最適化、すなわち公共施設等マネジメント (ファシリティ・マネジメント: 略してFM) に今すぐ取り組まなければ、施設の安全性が確保できない、財政が立ち行かなくなる、行政サービス・機能を提供できなくなる等、極めて大きな問題に直面することになるのです。

FMは、施設をなくすことが「目的」ではなく、いわきの未来を創るために限られた資源を集中投資する「手段」です。こうした考え方や課題を、市職員自身の「自分ごと」として捉え、主体的に検討・対策をしていくための第一歩として、東京都立大学 讃岐 亮 助教、FM先進自治体である鳥取市 宮谷 卓志 氏のお二方を講師にお迎えし、いわき市職員向け講演会を開催しました。

公共施設マネジメントの原点、
原点から考えるこれからの展開

2022.4.18 いわき市公共施設マネジメント講演会
東京都立大学 讃岐 亮

鳥取市におけるFM推進と
PPP(公民連携)の必然性

すごい!
鳥取市

鳥取市市民生活部協働推進課
・国土交通省PPPサポーター
・総務省 経営・財務マネジメント
強化事業アドバイザー
宮谷 卓志

いわき市
公共施設等
総合管理計画
改定

改定 2022年(令和4年)3月15日

計画期間 2017年度から2030年度まで
(令和2年度) (令和12年度)

「いわき市公共施設 マネジメント講演会」を開催

とき 2022年4月18日(月)
場所 いわき産業創造館企画展示ホール&Zoom



FMは何から・どこから 考えたらいいですか?

まずは、今ある施設ありきで考えることをやめてみましょう。

公共施設等は、あくまでも、市が行政サービス・機能を提供するため(当時)必要があって整備されたものです。今の時代に照らし、それは本当に行政でなければ提供できないサービス・機能でしょうか? その提供のために、市が建物を必ず所有する必要がありますか? 市全体を見据えて適切な質・量ですか? ICTの活用やアウトリーチなど、もっと便利にはなりませんか? ……建物の所有とサービス・機能を切り離して考えれば、よりよい行政サービス・機能、そして、施設のあり方が見えてくるかもしれません。



いわき市では、公共施設等マネジメント推進に向けて、2020年度から、東京都立大学 讃岐 亮 助教をアドバイザーにお迎えし、議論を重ねてきました。この取り組みにワクワクするような名前を付けよう!と考案したのが、「かたち×アクトぷらん^{らぼ}」通称「ぷらラボ」です。

職員の熱い想いを掛け合わせながら、公共施設等の将来あるべき「かたち」をデザインし、確実に実現するための「行動計画 = アクション・ぷらん」を「まずはやってみる」精神で研究・実践する場、という意味が込められています。

「ぷらラボ」とは…



2022年5月下旬頃 次号発行予定!